

吸光度計 RGB

使用法

型式 DPM2-ABS

LEDによる吸光度測定

Absorptiometry with an LED-photometer

測定範囲 吸光度 -1.500~1.500

測定波長(LEDの発光ピーク波長) R : 615nm

G : 525nm

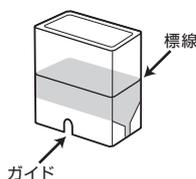
光路長 2cm

B : 470nm

測り方



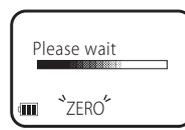
吸光度計RGBの電源を入れ(長押し)、測定画面で
▲ ▼ を押し、測定項目を選択します。



① 対照液(ブランク試料または純水)を
専用カップの標線(1.5mL)まで入れ
ます。



② 専用カップのガイドが手前になるように
測定部にセットします。



③ 0調ボタンを押します。
ゼロ調整終了後、専用カップを取り
出します。



④ 対照液を捨てて、検水を専用カップの標線
(1.5mL)まで入れ、測定部にセットします。



⑤ 測定ボタンを押します。



⑥ 吸光度が表示されます。



株式会社 共立理化学研究所
KYORITSU CHEMICAL-CHECK Lab., Corp.

神奈川県横浜市緑区白山1-18-2 ジャーマンインダストリーパーク
TEL:045-482-6937

吸光度計 RGB

測定に関する注意

1. 対照液に濁り、着色が多いとゼロ調整ができない場合があります。ろ過、希釈等を行なってください。
2. ポリスチレンを溶解する可能性のある有機溶媒は使用できません。
3. ゼロ調整に使用する専用カップと測定に使用する専用カップは同じものをご使用ください。
4. 測定範囲の上限値を超えた場合、上限値と「OVER」が交互に点滅し、下限値未満の場合、下限値と「UNDER」が交互に点滅します。
5. 測定値が上限値以上であった場合は、測定範囲内に入るように検水を希釈してください。
6. 水温が気温より極端に低い場合、専用カップに結露が生じて曇り、測定値が高くなります。
7. 専用カップ内壁に気泡等が付着すると測定値が高くなりますので、付いた場合は専用カップを指ではじくなどして、できる限り取り除いてください。吸光度が低い場合、誤差が大きくなりますので、特にご注意ください。
8. 専用カップの転倒、取り忘れ等で本体(特に測定部)に検水や対照液がこぼれないように十分ご注意ください。万一、こぼれた場合には、直ちに拭きとり、軽く水を含ませた柔らかい布で数回拭いてください。
9. 専用カップがセットされていない時に表示される数値は無効です。
10. 本製品は、フィルターによる波長選択や分光を行っていないため、測定波長は完全に同一ではありません。複数台で同一検水を同時に測定しても吸光度は一致しない場合があります。また、分光光度計やその他の方式で測定した吸光度とは一致しない場合があります。
11. 3波長の吸光度を同時に測定することはできません。
12. オートパワーオフは30分に設定されています。

専用カップについて

1. 専用カップはポリスチレンでできています。
2. 専用カップ(10個入り 型式:WAK-CC10)は別売しています。弊社までお問い合わせください。